

平成27年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～

2. 研究の目的

本事業は、将来の農業及び農業関連産業に従事するプロフェッショナルを育成することによって、地方創生の一翼を担う人材を育成する。そのために、最先端の栽培方法及び管理技術を習得させるとともに、企業等での実務的な学習により経営感覚を身につけるための具体的な手立てを研究する。あわせて、都市部と農村部をつなぎ、それぞれの地域の活性化につながる農業人材育成を目指す。

3. 実施期間

契約日から平成28年3月15日まで

※ 最長で当該年度の3月15日（3月15日が行政機関の休日に当たる場合は直前の開庁日）まで

4. 当該年度における実施計画

平成26年度は九州大学をはじめ農業研究機関、農業関連企業や農業生産法人、更には先進的に農業経営を行っている農家等との連携を図りながら、都市園芸に関する専門的な知識をもつアグリスペシャリストの育成を行った。

平成27年度については、運営指導委員会からの指導を受け、各学年ごとの実施計画を明確にするとともに、プラクティカルトレーニング（実践的インターンシップ）の実施や評価基準の検討、都市園芸科と専攻科の更なる連携があげられ、その課題に対して、次の5つの研究を中心に事業を進める。

①研究2年目のプログラムの実践

本事業の対象学年である都市園芸科2年生を中心とした、研究プログラム（ロードマップ：基本研修1年、実践的研修2・3年、独立実習専攻科1・2年）を実践する。そのため実践的研修として、プラクティカルトレーニングを全員に実施し、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成をねらいに事業に取り組む。平成26年度で実施した事業所でトレーニングを継続するとともに、新たに農家・農業生産法人を5件と、農業関連の事業所5カ所を実習先に加え、農業経営の現場における実践的な実習を行う。実施にあたっては、関係機関と連携しながら、経営感覚を身につけるための評価基準を生徒・教員側の2方向から効果を測定できるものを作成し、その基準に基づいた本実習を行う。

そのため、専門科目「農業」の授業と連携した事前指導、事後指導を充実させる。事前指導においては実施内容を理解するとともに、学習意欲を高める。事後学習では、授業との関連性を確認するとともに、継続的に指導を行い、プロジェクト学習や課題研究において、経営感覚を身につけた視点から課題解決能力が身につくよう指導方法の検討を進める。

さらに、先進地研修の充実をはかり、農業経営者や農業関連技術者、農業生産法人等の経営など、起業家マインドの育成を図る。

②経営感覚を身につけた人材の育成に向けたプログラムの計画・実践

5年間の継続研究において、経営感覚を身につけた人材を育成するために、「キャリアデザインノート（仮称）」を運営指導委員の助言をいただきながら生徒版と教師版を作成する。生徒版では、学年の発達段階に応じて、社会人基礎力をはじめとする指標や、経営感覚を身につけるための評価指標を生徒が記入し、自己評価できるようにする。教師版では、生徒版の内容と連動しながら、生徒の一人ひとりの資質・能力を高めるための評価指標を設定し、その達成に向け、研究プログラムが実施できるようにする。

③他学年に応じたプログラムの実践

本事業においては、学年進行で事業を展開する計画であるが、事業の研究内容を深化するためにも、実施できる内容について積極的に実施し、事業内容の改善に努める。

第1学年においては、産業としての農業の魅力や農業の担い手となるため興味・関心を喚起するとともに、職業人としてコミュニケーション能力等を身につけることを目的に、昨年度実施した内容を継続し、企業の農業参入研修や6次産業化先進校である長崎県立諫早農業高等学校と交流を実施する。

第3学年では、3年間の学習の基礎を踏まえ、より実践的に6次産業化を推進できる知識や技術を習得させる。そのために視察研修を2回実施し、農業を取り巻く社会情勢について理解を深める。また、LED照明装置を活用した植物工場について実践的な学習を行う。

専攻科1・2年においては、都市園芸科との連携を深めると同時に、九州大学をはじめとする研究機関と連携し、学習内容や研究のレベルアップを図る。九州大学や研究機関との連携においては、卒業研究の共同研究を開始する。さらに、本年度より4・5年次を見据えたプログラムの開発を図る。具体的には農場の在り方（一部観光農園化の運営）農業生産法人での長期研修（単位認定）、都市農村交流施設、農家レストラン経営企画・模擬運営など独立実習ができる環境整備を行う。

④関係機関との関係強化

関係機関との連携において、都市型園芸経営の課題や、事業の有効性の検証、指導の効果を高めるための評価基準について助言をいただきながら、検討を行い、事業の検証を行う。

さらに、一方的な支援だけでなく、大学等の研究成果物の商品化への協力や農産物販売会の共同実施など、互いの効果も高める取り組みを行う。

県内の農業高校と連携し、本校生徒が主体的に合同販売会等を運営・実施することにより、他の農業学科への成果を普及させる。

⑤アグリスペシャリストを育成するための教育課程の検討及び資格取得

都市園芸科と専攻科の5年間の継続した教育課程について引き続き検討する。「食の6次産業化プロデューサー」においては、「食農マネジメントⅠ」による学習を実施し、次年度の「食農マネジメントⅡ」へレベルを継続するとともに、専攻科でのレベル3の取得につながるよう

連携を進める。「生産工程管理」においては、G-GAP、J-GAPの基本的な学習を行うとともに、「ふくおかエコ農産物認証」の取得を関係機関と連携しながら行う。

専攻科における教育内容の見直しや、設定科目の検討を行う。

資格取得では、都市園芸に関するアグリスペシャリストを育成するねらいを明確にし、専門的な知識や、経営感覚を身につけさせる資格を選定し、積極的に実施する。

都市園芸科1年	基本研修
<p>【フロンティア学習】企業の農業参入研修（巨峰ワイン、九州沖縄農業研究センター筑後・久留米拠点）</p> <p>【マネジメント学習】農業高校生との交流（長崎県立諫早農業高等学校）</p> <p>【スキルアップ学習】社会人特別講師招聘「地域の農業」「企業の求める人材Ⅰ」「農産物直売所の現状Ⅰ」</p> <p>【実用的な資格取得】農業技術検定3級取得 希望者によるアロマセラピー2級の資格取得</p>	
都市園芸科2年	実践的研修
<p>【フロンティア学習】専攻科との連携（講義・実習の受講） 次世代農業EXPO見学研修</p> <p>【マネジメント学習】夏・冬季休業中のプラクティカルトレーニングの全員実施 研修報告会の実施 農業生産法人の視察研修（大木しめじセンター） 農業高校生との交流、九州の農業研修（熊本県立熊本農業高等学校、九州沖縄農業研究センター本所）</p> <p>【スキルアップ学習】社会人特別講師招聘「農産物の流通・販売」「企業の求める人材Ⅱ」「農産物直売所の現状Ⅱ」 学校設定科目「生産工程管理」によるGAPの学習</p> <p>【実用的な資格取得】学校設定科目「食農マネジメントⅠ」の学習による食の6次産業化プロデューサーレベル1の取得 希望者によるアロマセラピー1級の資格取得</p>	
都市園芸科3年	実践的研修
<p>【フロンティア学習】LED栽培装置による植物の栽培実験</p> <p>【マネジメント学習】6次産業化研修Ⅰ（永野食品、三連水車の里あさくら） 6次産業化研修Ⅱ（七城メロンドーム、ココファーム）</p> <p>【スキルアップ学習】社会人特別講師招聘「草花・野菜栽培の現状」「観光農園の現状」「地域特産物を活用した地域おこし」</p> <p>【実用的な資格取得】学校設定科目「食農マネジメントⅡ」の学習による食の6次産業化プロデューサーレベル1取得</p>	
専攻科1年	独立実習
<p>【フロンティア学習】都市園芸科2年生への学習指導</p> <p>【マネジメント学習】先進農家研修（北部農園、果実堂）</p>	

就職先でのプラクティカルトレーニング	
【実用的な資格取得】食の6次産業化プロデューサーレベル1取得 農業技術検定2級取得	
専攻科2年	独立実習
【フロンティア学習】九州大学と連携した卒業研究 次世代農業EXPO見学研修	
【マネジメント学習】先進農家研修（北部農園、果実堂）	
【実用的な資格取得】食の6次産業化プロデューサーレベル2取得	
共 通	
○「経営感覚を身に付けた人材」評価指標作成、プラティカルトレーニング評価規準作成 ○年2回の運営指導委員会を開催する。 ○農業高校との合同販売会の実施 ○月1回の研究推進委員会を開催する。 ○宮城県立農業高等学校との情報交換 ○ホームページを活用した活動報告 ○JGAP指導員講習受講 ○中間成果報告会の実施 ○九州国立博物館ポスター発表 ○アンケート調査、進路分析 ○研究4, 5年次に向けての学習環境整備	

5. 実施体制

(1) 研究担当者

氏 名	職 名	役割分担・担当教科
堀 利治	教諭	企画及び工程管理・野菜 (スキルアップ学習担当)
平田 陽一	主幹教諭	総務、学校設定科目検討・草花 (学校設定科目担当)
永野 義弘	主幹教諭	総務、学校設定科目検討・果樹 (マネジメント学習担当)
鬼木 清	教諭(専攻科)	会計、学校設定科目検討・植物バイオ (フロンティア学習担当) (九州大学連携)
本多 真由美	指導教諭	学校設定科目検討
岩屋 恭士	教諭(専攻科)	学校設定科目検討
岡部 英紀	教諭	(フロンティア学習担当) 学校設定科目検討
真鍋 公士	教諭	(マネジメント学習担当) 学校設定科目検討
諫山 弘基	教諭	(スキルアップ学習担当) 学校設定科目検討

(2) 研究推進委員会

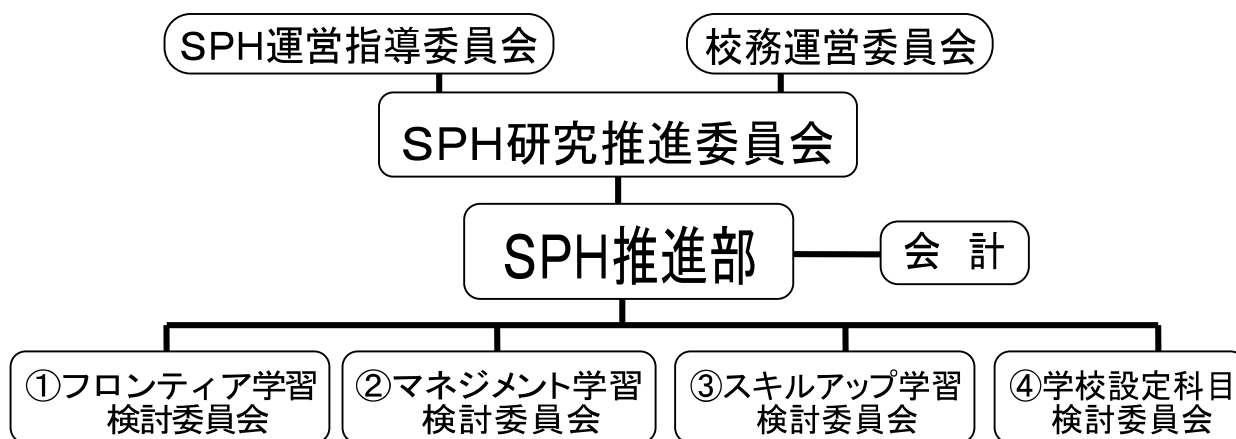
氏 名	所属・職名	役割・専門分野等
森高 政博	九州大学・准教授	研究の評価及び助言・農業資源経済学
片倉 喜範	九州大学・准教授	研究の評価及び助言・生物機能科学
瀬戸 衛二	(株)太宰府遊園地・園長	研究の評価及び助言・流通
田中 浩一	福岡農業高校・校長	研究の運営
栗之丸 隆太郎	福岡農業高校・教頭	研究の企画及び運営

薦田 源一	福岡農業高校・専攻科教頭	研究の企画及び運営（総括）
平田 陽一	福岡農業高校・主幹教諭	研究の推進及び工程管理・草花
堀 利治	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・野菜
鬼木 清	福岡農業高校・教諭	研究の推進・植物バイオ
本多 真由美	福岡農業高校・指導教諭	研究の推進・研究内容の評価

(3) 校内における体制図

効果的に本事業を推進するために、以下のような委員会を設立し、定期的な委員会を開催する。

- ①SPH運営指導委員会（7月、12月）
- ②SPH研究推進委員会（年2回開催）
- ③SPH推進部（随時）
- ④各種検討委員会（毎月1回開催）



6. 研究内容別実施時期

※都園とは都市園芸科を指し、専攻は専攻科を指す。

月	学年	実施内容
4月	都園1	新入生アンケート調査
	都園2	【実用的な資格取得】・学校設定科目「食農マネジメントⅠ」「生産工程管理」授業開始 ・アロマセラピー1・2級特別講義
	都園3	【フロンティア学習】・LED栽培装置による栽培実験開始（～1月） 【実用的な資格取得】・学校設定科目「食農マネジメントⅡ」授業開始
	専攻2	【フロンティア学習】・九州大学と連携した卒業研究開始
5月	都園2	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘①「農産物の流通・販売について」 【実用的な資格取得】・アロマセラピー1・2級試験実施
	都園3	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘①「草花・野菜栽培の現状について」 【評価指標・評価規準作成完成】研究推進委員会での最終確定
6月	都園1	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘①「筑紫地域の農業について」
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講①「生物工学」講義・実験
	都園3	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘②「観光農園の現状について」
	専攻1	【フロンティア学習】・先進農家研修（熊本県 北部農園、果実堂）

		・専攻科講義受講①「生物工学」実験指導
	専攻 2	【フロンティア学習】・先進農家研修（熊本県 北部農園、果実堂）
	第 1 回運営指導委員会	
7 月	都園 2	【スキルアップ学習】・社会人特別講師②「企業の求める人材Ⅱ」 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング実施（全員）
	都園 3	【マネジメント学習】・6次産業化研修①「永野食品、三連水車の里あさくら」 【実用的な資格取得】・食 Pro レベル 1 特別講習（希望者）
	専攻 1	【実用的な資格取得】・食 Pro レベル 1 特別講習（希望者）
8 月	都園 2	【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング実施（全員） 成果発表会
9 月	都園 1	【フロンティア学習】・企業の農業参入研修「巨峰ワイン、九州沖縄農業研究センター筑後・久留米拠点」 【実用的な資格取得】・アロマセラピー 2 級特別講義（～12月）（希望者）
	都園 2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講②「水耕栽培Ⅰ」講義・実習 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘③「農産物直売所の現状Ⅱ」 【実用的な資格取得】・アロマセラピー 1 級特別講義（～12月）（希望者）
	都園 3	【スキルアップ学習】・社会人特別講師③「地域特産物を活用した地域おこしⅠ」
	専攻 1	【フロンティア学習】・専攻科講義受講②「水耕栽培Ⅰ」実習指導 【実用的な資格取得】・食 Pro レベル 2 特別講習
	専攻 2	【実用的な資格取得】・食 Pro レベル 2 特別講習
10 月	都園 1	【スキルアップ学習】・社会人特別講師②「企業の求める人材Ⅰ」
	都園 2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講③「水耕栽培Ⅱ」講義・演習 ・次世代農業 EXPO 見学研修（代表者）
	専攻 1	【フロンティア学習】・専攻科講義受講③「水耕栽培Ⅱ」実習指導
	専攻 2	【フロンティア学習】・次世代農業 EXPO 見学研修（代表者）
11 月	都園 2	【マネジメント学習】・農業生産法人視察研修「大木しめじセンター」 【スキルアップ学習】・社会人特別講師③「農産物直売所の現状」
	都園 3	【マネジメント学習】・6次産業化研修②「七城メロンドーム、ココファーム」 【スキルアップ学習】・社会人特別講師④「地域特産物を活用した地域おこしⅡ」
12 月	都園 1	【マネジメント学習】・農業高校生との交流「長崎県立諫早農業高等学校」 【実用的な資格取得】・農業技術検定 3 級受験（全員） ・アロマセラピー 2 級試験実施（希望者）
	都園 2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講④「卒業論文発表会」 【マネジメント学習】・農業高校生との交流「熊本県立熊本農業高等学校」 ・九州の農業視察研修「九州沖縄農業研究センター本所」 ・プラクティカルトレーニング実施（全員） 【実用的な資格取得】・アロマセラピー 1 級試験実施（希望者）
	専攻 1	【フロンティア学習】・専攻科講義受講④「卒業論文発表会」発表補助 【実用的な資格取得】・農業技術検定 2 級受験（希望者） 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング（希望者）

	専攻2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講④「卒業論文発表会」発表、運営 第2回運営指導委員会
1月	都園1	【スキルアップ学習】・社会人特別講師③「農産物直売所の現状Ⅰ」 【実用的な資格取得】・アロマセラピー1級特別講義（希望者）
	都園2	【フロンティア学習】・LED栽培装置による栽培実験開始 ・専攻科講義受講⑤「液体クロマトグラフィーによる分析実験」 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング報告書作成 【実用的な資格取得】・食Proレベル1申請
	都園3	卒業生対象 アンケート調査、進路分析
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科講義受講⑤「液体クロマトグラフィーによる分析実験」指導
	専攻2	卒業生対象 アンケート調査、進路分析
2月	中間成果発表会、年間反省、次年度計画	
3月	事業報告書発刊、文部科学省へ報告書提出	

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
なし	余白	余白	余白	余白

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

- () 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
 (○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・無

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等

別紙2に記載